



みどりの風

令和3年4月6日発行
校報 584号
(みどりの風 127号)
練馬区立関町北小学校

ご入学・ご進級おめでとうございます

校長 吉川 文章

「心を開き、夢を育てる」の経営理念を引き継ぎ、学校をさらに前に進める

北町西小からまいりました吉川文章(きっかわふみあき)と申します。この度、関町北小学校に着任できましたこと心から嬉しく光栄に思います。加えて、10年間務められた大野泰弘校長先生をはじめとする歴代の校長先生方や教職員の方々、何より、保護者地域の皆様が築かれた歴史と伝統を継承することの重みをひしひしと感じております。

大野前校長先生からは、新型コロナウイルスの感染拡大防止による規模縮小や制限がある中、卒業生が誇りと自覚をもって式に臨み、堂々とした態度で巣立っていったことをお聞きました。そして、そのような素晴らしい最高学年がリーダーシップを発揮する学校を任されたことに胸が高鳴りました。

先日、大野前校長先生、副校長先生とご一緒に、学校評議員の皆様、町会の皆様、歴代PTA会長様など地域の皆様に挨拶をさせていただく機会がございました。お留守の方もいらっしゃいましたが、全ての皆様が関北への熱い思いと心からのご支援、何より児童への深い愛情を注がれていることに目頭が熱くなりました。この学校の校長としての職責の重さをさらに自覚するとともに大きな勇気とエネルギーを頂きました。本当にありがとうございます。

そして、本日の入学式と始業式を迎えた子どもたち。保護者の皆様には、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。心よりお慶びを申し上げます。今日は、笑顔いっぱいの1年生88名と4名の転入生を迎えて、全18学級、全校児童 591名〔4月6日現在〕の子どもたちと共に、関町北小学校の新たな1年をスタートすることができました。

今年度も、コロナ禍における感染防止対策による子供たちの健康安全への取り組みは最優先の課題であります。引き続き、多くの制限を余儀なくされる教育活動となります。しかし、立派に巣立った卒業生のように、こういった機会をむしろ成長の絶好の機会と捉え、教職員一丸前を向いて教育活動に当たる所存です。10年後、20年後には、「私たちは、あのコロナを仲間や先生たちと共に乗り越えたのだ」と胸を張って言えるよう、ポジティブな姿勢で子供たちに関わってまいります。

校長として、皆様の大切な「愛し子」であるお子様をお預かりするにあたって、その基本的な方針である「心を開く・共に生きる〔教育目標〕・夢を育てる」という思いは今年度も貫いてまいります。学習指導要領の趣旨や昨年度の保護者の皆様から寄せられたご意見などを踏まえ、よりよい学校像をめざしてまいりますと考えております。

<めざす学校像>

- 主体的に学び続ける児童を育てる学校〔知育〕
- 温かい心や言葉が日々通い合う学校〔徳育〕
- 心身を鍛えながら互いに高め合う学校〔体育〕

この学校像に迫るため、例年通り、次の6つの柱を立て、教職員の叡智を結集し、子どもたちの生命・健康・安全・安心を最優先に考え、保護者や地域の皆様のお力をお借りしながら創意工夫してまいりますと考えております。

<学校経営の6つの柱>

- ◇開かれた関北 — 連携を深め、子どもたちの夢を育むために —
- ◇共生の関北 — 豊かな心と絆を育むために —
- ◇学びの関北 — 学び方や学ぶ楽しさを体得するために —
- ◇健康安全の関北 — 心にたくましさや安心感を育むために —
- ◇環境の関北 — 心が潤い、温かさを感じるために —

何卒、ご理解、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。